

# News

<http://www.jmdp.or.jp/>  
<http://www.donorsnet.jp/>

日本骨髓バンク

検索

- 発行2017年7月5日 公益財団法人 日本骨髓バンク
  - 発行責任者 齋藤英彦(理事長)
  - 編集責任者 松園正人(事務局長)
- 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7F  
 TEL 03-5280-8111 FAX 03-5280-0101

CONTENTS

- 2 3 …… 特集1 **ドナーのための社会支援を知っていますか?**
- 4 5 …… 特集2 **語りべからのメッセージ**
- 6 …… 日本骨髓バンクの現状
- 7 …… 寄付のお願い/トピックス/BANKO'S DAY/プレゼント
- 8 …… 住所変更手続きのお願い/メールアドレス登録のお願い

日本骨髓バンクの現状 ※2017年5月末現在

登録者数

47万2,856人

移植数

20,747例

INTERVIEW



笑顔でインタビューに答えていただいた木下ほうかさん

## 「僕が 卒業しても、」

今年7月からACジャパン骨髓バンク支援キャンペーンの新CMがスタート。出演は俳優の木下ほうかさん。2009年に骨髓バンクを介して骨髓提供しました。撮影の合間をぬってインタビューに答えていただきました。

俳優

木下 ほうかさん

プロフィール

1964年大阪府大東市生まれ。1980年俳優としてデビュー。映画・テレビに数多く出演。バラエティTV番組「痛快TVスカッとジャパン」のイヤミ課長で小中高生に絶大な人気を博している。

気がかりといえば、「この期間に大きな仕事が入ったらどうしようか」とは思いましたが、役者としての好奇心もありました。今後の役に活かせられるかもしれないし。周りには反対されましたけど、みんなよく知らないんですね。自分でいろいろ調べて、患者さんに比べたら大変じゃないかと。仕事の予定は前もって調整してもらいましたが、会社勤めの人はそっはいかないこともあるでしょうね。

提供までどんな気持ちで  
過ごしましたか?

以前から、時間に余裕があるとよく献血に行っていました。あるとき、献血ルームで骨髓バンクのポスターを見て、軽い気持ちでドナー登録しました。登録してから4〜5年後にようやく患者さんと適合したという通知がきて、「あー、僕も誰かの役に立てるのかな」と思いました。

登録したきっかけは何ですか?

提供して印象に残っていることはありますか?

採取後は痛みもほとんど無くて、病院の売店に食べ物を買っていくくらい元気でした。提供してから1年近く経って患者さんと奥様から感謝の手紙をいただいたとき、骨髓提供の意味がよくわかって、本当にやってよかったと。うれしくて涙があふれました。この手紙は僕の宝物ですよ。

登録を考えている方に  
メッセージをお願いします

僕はあと1年半くらいでドナー登録を卒業しますが、卒業までにまた適合通知がきたら、もう一度提供したいです。とくに若い人がちょっとした勇気を持ってドナー登録してくれたらうれしいですね。「おまえもやっているなら、おれもやろか」という人が増えることを願っています。

### YouTubeビデオメッセージ



CM撮影の1コマ

新CMのキャッチコピーは「僕が 卒業しても、」。テレビやラジオのCM、駅や交通機関などのポスターをもうご覧になりましたか? YouTubeでは、木下ほうかさんの応援メッセージを公開しています。ぜひチェックしてね!

» 骨髓バンクYouTubeチャンネル

▶ <http://www.youtube.com/user/jmdpmb>

» 続きは「ドナーズネット」で公開しています。▶ <http://www.donorsnet.jp/>

## ドナーのための社会支援を知っていますか？

### 日本光電工業の担当者に聞く



平田 茂さん  
ひらた しげる  
取締役 経理部長  
兼 執行役員

日本光電工業株式会社（本社・東京）は2015年8月にドナー特別休暇制度を導入しました。同社は国内外に拠点や工場を有し、社員数約5000

## ドナー特別休暇制度を導入しました

骨髄バンクドナーは、提供までに合計で8回前後医療機関へ足を運ぶ必要があります。その日数をドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先が特別休暇として認めるのが「ドナー特別休暇制度」。ドナーにとって仕事を休める環境が整っていることは、心強いバックアップになります。現在450を超える企業や団体が取り入れています。

人を数える医療機器メーカーです。当時、人事部長として同制度導入に関わった平田茂 取締役執行役員経理部長に聞きました。「きっかけは骨髄バンクから届いたドナー特別休暇制度の導入を要請する文書でした。当社の経営理念とも合致していたので検討を始めた。同年11月には、骨髄バンクを介して移植を受け、元氣になった移植経験者の講演会を開催。「制度を作っただけではなく、社員の骨髄バンクの理解を醸成したかった」

さらに、翌2016年の新入社員研修プログラムで骨髄バンク講演会を実施。「講演を通して若年ドナーの登録が緊急課題と知り、これは若い人に伝え、真剣に取り組むべきと感じました」。新人研修での講演は2017年も開催されました。

同社は本社や工場で行っていた献血会に合わせてドナー登録会も開催しています。「社員のドナー登録が増え、ドナー特別休暇を利用して提供者が増えたらと思っています」



日本光電工業の新人研修

### ドナー特別休暇制度の利用者に聞く



高橋 恵利子さん  
たかはし えりこ  
2015年に骨髄提供

2015年秋、ドナー特別休暇制度を利用して骨髄提供したのが日本光電富岡株式会社物流センターの高橋恵利子さんです。「提供に迷いはなかったのですが、休める環境があったから提供できたと思います」と当時を思い出す高橋さん。有給休暇等の休みがとりやすい会社ですが、さらに上司や同僚も高橋さんを快く送り出してくれたと言います。「上司に適合したことを報告した時、すごいね」と言われました」

ドナー特別休暇制度があるからとはいえ、極力、職場に迷惑がかからないように調整したそうです。「コーディネーターさんに月末の予定は避けてもらいました。会社が休みやすい環境を作ってくれないと、ドナーはなかなか提供できないと実感しています」

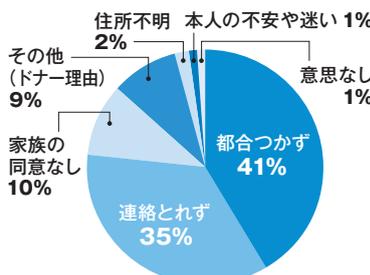
### ドナー特別休暇制度をとりまく現状

2016年度に適合通知をお送りしたドナー候補者2万7128人のうち、最初の段階で終了した方は1万7415人。健康理由以外で終了した方は1万1100人となっています。そのうち都合つかずで終了した方は、仕事上の理由を含め4割以上のぼっています（左図参照）。

ドナー候補者の多くは働き盛りの年齢です。提供のための時間を捻出することは容易ではないと思いますが、職場のご協力や働き方の工夫によっては、提供が可能になることもありま

す。ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のための環境作りが求められる昨今、社会全体でドナー特別休暇制度への理解が広がり、整備されていくことが望まれます。

初期段階の終了理由（2016年度）



コーディネート開始件数：27,128件  
健康理由以外の終了件数：11,100件

### 新パンフレット紹介

今年4月より新しいパンフレットを発行しています。

ぜひご利用ください！

ホームページからもご覧いただけます。



#### 「ドナー候補者のご家族へ」

ご家族の話し合いの際の資料としてお役立てください。

#### 「ドナー候補者の職場の皆さまへ」

職場で提供のためのスケジュールや仕事への影響などの概要をご理解いただくための参考資料としてお役立てください。



# ドナーのための社会支援を知っていますか？

提供のために仕事を休むと、その分だけ減収になるドナーさんの経済的不安等を軽減し、提供しやすい環境作りのために設けられたのが、民間保険会社の「ドナー給付保険」や地方自治体等の「ドナー助成制度」。社会的な支援体制が少しずつ広がりを見せています。

## ドナー給付保険とは

骨髄・末梢血幹細胞提供のために入院した場合、手術給付金等が支払われる保険。手術等に関する保険の特約あるいは包括契約となっています。骨髄バンクのホームページで適用している保険商品を紹介しています。



※パンフレットはイメージです

## ドナー助成制度とは

全国の地方自治体・民間団体で、骨髄バンクを介して骨髄・末梢血幹細胞を提供したドナーに助成金（または奨励金）を交付する制度。自治体によっては、提供ドナーの勤務先の事業所も交付対象とする場合があります。全国32都府県、307の市区町村で導入されています（2017年6月15日現在）。このうち11都府県では市区町村の助成金額の半分を補助しています。骨髄バンクのホームページで助成制度を導入している自治体の一覧を掲載しています。

## 事例紹介



のしま たいすけ  
野島 大輔さん

2008年と2016年に骨髄提供

### ドナー助成制度を利用して

これまで2回適合通知が届き、どちらも提供することができました。会社では快く承諾してくれたため、安心して提供に臨むことができました。また退院して職場に復帰した時も仕事のサポートしてもらえました。

そして本年、私の住んでいる岡山県の全市町村で「骨髄・末梢血幹細胞ドナー等助成金制度」が始まりました。実際にドナーになると、仕事を休むことで職場に迷惑をかけているという気持ちはありました。岡山県ではドナーの働いている企業にも助成金が支払われるため、ドナーの経済的負担が少なくなるだけでなく周囲の理解も得やすくなると思います。この制度が広がっていくことで、1人でも多くのドナーが増えて、当たり前のよう提供できて、それを応援できる社会になるひとつのきっかけになってもらえればうれしく思います。

## ドナー助成制度を導入している岡山県笠岡市

笠岡市は、2016年8月にドナー助成制度を導入し、その申請第1号が野島さんでした。「助成がスタートした直後の9月に申請を受け、タイムリーなので少し驚きました」と語るのは笠岡市健康推進課課長補佐の山田真二さん。まだ市民への広報が十分にできていない時期だったので意外だったようです。

「笠岡市が制度を導入できたのも、県による骨髄バンク事業への積極的な支援の影響が大きいです（山田さん）」

岡山県では県内市町村によるドナー助成金の半分を補助しています。これにより県内全市町村でドナー助成制度が導入されており、全国的にみても岡山県以外では埼玉県と山形県のみです。

助成制度は、コーディネート過程で仕事を休むと生活への影響が大きいため、ドナー登録を躊躇している方々の背中を押すことも狙いです。

「広報や市役所で行っている献血の場を通じて、助成制度があることを市民に広めていきたいです」（山田さん）

### 笠岡市のマスコット・カブニ一家



（父・カブニ、母・カブ海、子・カブ希のカブトガニの一家。市には絶滅危惧種のカブトガニ繁殖地があり、保護に努めている）

### 笠岡市のドナー助成制度

市内に住所があり、日本骨髄バンクを介して骨髄等を提供したドナーと、ドナーが勤める事業所が対象。ドナーへは通院1日につき5千円、入院1日につき2万円（但し1回の骨髄等提供につき10万5千円が限度）。事業所へはドナーの休業1日につき1万円（但し1回の骨髄等提供につき9万円が限度）。

注 ドナー助成制度は自治体によって内容が異なりますので、詳しくは直接各市区町村へお問い合わせください。

ドナーさんから患者さんに渡された命のリレー。かけがえのない命をつないだ物語は、ひとつとして同じものはありません。

今回は移植経験者、ドナー経験者の中から3人の方に貴重な体験を語っていただきます。

正直なところ、できれば骨髄移植は避けたい。命がけになるとわかっていたので。寛解導入と地固め療法まで行っただけで、病気の進行を完全に止めることは難しいから、移植を考えたいという医師に言われました。それでも決まっていたのでセカンドオピニオンを勧められ、最終的にその病院で移植を受けることに決めました。

最初は「ドナーが見つからないければ、移植をしなくてすむ」と後ろ向きでした。でも意外と早くドナーさんが見つかって順調に進み、移植が決まったからは前向きになりました。提供してくれる人

### 最初は移植に後ろ向き

2015年1月頃から足の痛みが始まって、だんだんひどくなりました。原因がわからず病院を転々として、鎮痛剤も効かないようになって。別の病院での血液検査で異常が見つかり血液内科の病院を紹介され、病名が判明したのが10月15日、即入院でした。

白血病と聞いたときは驚きました。でもそのショックより、痛みの原因がわかった安堵のほうが大きかった。少なくとも方向性が見えてきたから。家族も自分と同じように、原因がわかったことでほっとしたようです。

### 原因不明の痛みで病院を転々



佐々木 美和さん

2015年急性リンパ性白血病を発症。翌年骨髄バンクを介して骨髄移植を受けました。ご自身の移植体験をもとに、企業を中心とした骨髄バンク語り会講演会にもご登場いただいています。現在、職場復帰を目指して準備中です。



幼い頃からお世話になっているご家族と

### いよいよ移植

はじめは移植をする気がなかったのを忘れていましたが、治療を開始した病院で先生から卵子凍結の話聞いていたことを思い出し、セカンドオピニオンを受けた先生にも勧められ、卵子凍結に踏み切りました。

移植当日、ドナーさんと血液型が違っていたので骨髄液の血球除去を行い、輸注は夜になりました。夕食後のせいか輸注で気分が悪くなりました。担当チームの先生方が病室に集合してざわざわして、感動するかと思っていたところ、こっちは気分が悪くてそれどころじゃないという感じでしたね(笑)。看護師さんたちは皆ベテランぞろいで、入院中の対応はすばらしかったです。

### 移植を乗り越えて

2016年7月に移植し、順調に回復して約1カ月で退院しました。自宅に帰れることが何よりもうれしかったです。移植後は貧血が回復しない状態で、時々輸血を受けていました。何か貢献できることはないかと思って、秋頃に骨髄バンクの登録ボランティアに応募し、2カ月間ほど活動しました。

現在の職場は2014年に転職したばかりで、翌年正社員になった矢先に入院となって申し訳なかったです。在職中は自分以外の人が代わってできるように仕事の配分を調整してくれて、長期休暇と今後の職場復帰も認めてくれました。今の職場で本当によかったと思います。

当初は今年4月に職場復帰の予定でしたが、あと数日で出勤開始というときにGVHDの症状が出て、結局1カ月間再入院することになりました。今は免疫抑制剤とステロイド剤で症状は緩和し貧血も抑えられています。職場復帰は9月頃を目指しているところです。

まもなく移植から1年を迎えますが、ドナーさんへ2度目の手紙のチャンスが残っているので、「社会復帰できました」と朗報をお届けしたいです。(※日本骨髄バンクでは、患者さんと提供ドナーとの間で移植後1年以内に2回まで手紙交換が可能)

### これからドナーになる方へ、 また患者さんへお伝えしたいこと

ドナーになる方へは、たとえ提供に至らなくても、ドナー登録していただいているというだけで、誰かの希望になっていることを知ってほしいと思います。

患者さんへは、「苦しい思いをした分、絶対に幸せになる！」と私は治療を乗り越えてきました。大変なこともあります、気持ちだけは負けずに乗り越えてほしいと思います。



# 語りべからのメッセージ

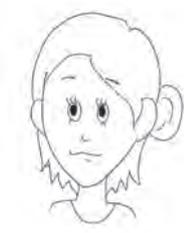
## 患者さんの体験談



まゆこ  
麻友子さん

2016年4月に骨髄異形成症候群と判明  
2016年8月に骨髄バンクを介して骨髄移植を受ける。現在、社会復帰を目指して準備中

## 命のバトンが 教えてくれたこと



なみ  
七海さん

2014年にドナー登録  
2016年に骨髄提供

## 提供したドナーさんの体験談

「骨髄異形成症候群、予後不良、何気なく受診した人間ドッグの結果、「きつと何かの間違いいではないか。明日になれば治っているかも」受け入れがたい事実涙が止まりませんでした。根治するには、骨髄移植しかなく、薬での治療も限界があるとのこと。骨髄移植をするべきか数年でも元気のままで生活するか、自問自答の日々でした。移植をしても万が一のこともある。でも、少しでも可能性があるのならそれを信じてみようと思いました。」

そんな中、幸運にもHLA型がフルマッチのドナーさんが見つかり、骨髄移植への準備が始まりました。生きる機会を与えてくださったドナーさんには本当に感謝しありません。

入院するまでの期間は、骨髄移植のリスク回避として卵子凍結も行いました。また時間が許す限り友人達にも会いに行きました。体調が悪くなる前に、このような時間を作れたことは本当にラッキーだったと思います。移植当日、ドナーさんの骨髄を見て、なんとも不思議な気持ちになりました。これからは、ドナーさんの骨髄と一緒に生きていくのだなど。この日を迎えるまで、放射線全身照射治療、大量の抗がん剤、どんどん弱っていく自分と向き合いながら、支えてくれている医療メンバー、家族、友人等、そして何よりドナーさんも移植日に向けて準備して下さっているという思いが、私を勇気づけてくれました。それでも、先が見えない不安な時、辛い治療時は、友人からのアルバムを見返したりして励みにしています。自分自身にも、「誰も悪くない、これは与えられた試練なのだ」と強く強いいきかせました。

移植後、無事生着し約2カ月で退院することができました。退院後は、以前のように動けなくなりました。自分自身に失望したりしましたが、現状を受け止め、今の自分にできることをしようと思っています。GVHDとの付き合いは長くなりそうですが、今は復職に向けて、体力作りにも励んでいます。

今後も、周りへの感謝を忘れずに、頂いた命を大切に精一杯生きていこうと思います。

(※移植したドナーの骨髄で新しい血液を作り始めること)

高校時代から献血が趣味でした。おいしいお菓子に飲み物、漫画。それらすべてをただで享受できる、しかも、自分の血が抜かれる、という割と面白い体験ができる献血が好きでした。骨髄バンクは、そんな利己的な趣味の延長として登録しました。なにせ、珍しい体験ができるかもしれないのですから。

ドナーになるかどうかは宝くじのようなものであることは理解していましたが、だから、登録したからといってそう簡単には来ないだろう、とも考えていました。成人を迎えて半年経った頃、患者さんとの適合通知をもらったときは、自分の引きの強さに驚いたものです。まさかこんなに早く来るとは。そういえば昔からくじ運は良い方でした。

幸い当時は暇な大学生で、健康診断・入院などの日程はほとんど決まっていきました。家族には若干心配もされましたが、当の私はいったってのんきなものでした。何もなくても毎日毎日リスクを負って生きている、多少リスクが増えるだけで何か役に立てるなら、やらない理由はない、という理屈でありました。

準備の日々は矢のように過ぎていき、入院の日のことです。真っ白なベッドにうつぶせになりながら、自分とこれから自分の骨髄を渡すであろう人の命について考えていました。大それた思いもなく、自分の体の一部を差し出すとしていた自分と、病気になるって生きているために闘っていらっしやる患者の方。あまりにも、健康そして命についての意識が違いすぎる。自分の命を軽く見がちな自分が、馬鹿みたいでした。そんなふうにしかなかった自分の命を見ていない自分が、あきれられるほど馬鹿らしい。自分の命に対する意識を外と照らし合わせることで、普段気づけなかった自分に気がついたのです。

骨髄を提供する、という経験は、「健康に生きている私」に冷ややかで客観的な視線を浴びせていきました。しかしそれは同時に、私という存在を外側から見返す非常にいい経験でもあったのです。



## 語りペライブラリー“Donorsnet”

Donorsnet(ドナーズネット)はもう一つの骨髄バンク公式サイト。たくさん語りべからのメッセージをお伝えしています。「骨髄バンクって何?」と思ったら、まずここをチェック。患者さん、ドナーさんの実体験を語る言葉が胸に響きます。



## 語りべ講演会のご案内



日本骨髄バンクでは、移植によって元気になられた元患者さん、提供されたドナーさん等を「語りべ」として講師派遣します。自らの体験から「いのちの大切さ」を語る講演会は回を重ねるたび反響を呼んでおり、2016年度は全国で計98回開催されました。関心がありましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

■講演会に関するお問い合わせ 日本骨髄バンク 広報渉外部  
TEL:03-5280-8111(平日9:00~17:30) / E-mail:toiawase@jmdp.or.jp



# ご寄付のお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金や皆さまからのご寄付によって成り立っています。当法人へ寄付した場合、税制上の優遇措置が受けられます。皆さまの善意をお寄せください。

**寄付金の使途** 提供・移植に向けての連絡調整、ドナー登録会の開催、普及啓発用の資材制作等の費用として活かされています。

移植を待つ患者さんのために・・・ 貴重なご寄付で可能になるのは

たとえば

- 3,000円でパンフレット200部
- 1万円でポスター200枚
- ドナー登録会の実施
- コーディネーターによる連絡調整

## 賛助会員入会のお願い

骨髄バンク賛助会員とは、毎年1回、定額（個人1口10,000円、法人1口100,000円）のご寄付を継続して行なっていただく制度です。専用振込用紙（ゆうちょ銀行）にご記入いただくか、当法人募金担当にご連絡いただくことで、賛助会員として登録します。

## 骨髄バンク社会貢献型カードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髄バンクに寄付される社会貢献型カード（骨髄バンクNICOSVISAカード）。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーターカード、毎年1万円を寄付する特別会員があります（初年度クレジットカード年会費無料）。

入会申込書は ☎0120-377-465（平日9:00～17:30）までご請求ください。

ご寄付は下記の方法でお願いします。金額の上限はありません。皆さまの温かいご支援をお待ちしています。  
募金フリーダイヤル ☎0120-377-465（平日9:00～17:30）

### 1 郵便振替

郵便振込用紙で、最寄りのゆうちょ銀行・郵便局からお振込みをお願いします。手数料は当法人負担となります。

### 2 銀行振込

募金フリーダイヤル までお電話ください。  
みずほ銀行間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。

### 3 お電話で募金（クレジットカード）

カードをお手元にご用意のうえ、募金フリーダイヤル までお電話ください。  
お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。

### 4 インターネットから募金（クレジットカード・楽天銀行、ポイント募金など）

①インターネットクレジットカード募金  
[http://www.jmdp.or.jp/help\\_us/](http://www.jmdp.or.jp/help_us/) または

②楽天銀行（旧イーバンク銀行）  
[http://www.jmdp.or.jp/help\\_us/howto/bank.html](http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/bank.html)  
24時間入出金が可能な楽天銀行をご利用いただけます（手数料無料）。なお、事前に口座の開設が必要です。

### 5 自動口座引き落としによるご寄付

資料をお送りします。募金フリーダイヤル までお電話ください。

私、骨髄バン子です！  
**BANKO'S DAY**

① **DAY**

ドナー登録はどこで？  
南献血ルーム

お近くの保健所

移動献血バス

家では登録できません！  
ゴゴゴ BANKO



## TOPICS 骨髄バンク推進全国大会2017 in 栃木

9月16日（土）の世界骨髄バンクドナーデーに合わせて、骨髄バンク推進全国大会を栃木県小山市で開催します。栃木県はここ数年ドナー登録者数の増加がめざましく、活動事例の紹介等を行う予定です。さらに、ハンドベル世界大会にも出場している「白鷗大学ハンドベルクワイア」による演奏も予定しており、多彩な内容となっています。入場無料で、どなたでも参加できます。皆さまのご来場をお待ちしています。

【日時】 9月16日（土）12:00～16:00（予定）  
【場所】 白鷗大学 東キャンパス・白鷗ホール（JR小山駅東口より徒歩1分）



Present **クイズに答えて賞品をGET!** ○の中に入る文字を当ててください。

Q. 「BANKO'S DAY」の主人公の名前は「骨髄○○○○」



4名様

木下ほうかさん  
直筆サイン入り色紙



応募締切

2017年8月8日（火）

応募方法

【PC・スマートフォン】

<http://www.donorsnet.jp/news50/> にアクセスし、応募フォームに必要事項を記入の上、お申込みください。

【携帯】

[present.jmdp.or.jp](http://present.jmdp.or.jp) 宛に、件名「プレゼント応募」、必要事項（①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④電話番号、⑤名前、⑥年齢、⑦ご意見・ご感想）を明記の上、ご送信ください。

## 住所や電話番号の変更、忘れていませんか？

\*日本骨髄バンクでは登録内容の変更は受付けておりませんので、ご注意ください。

\*住所などの変更、ドナー登録の保留や取消しの手続きは下記①～③の方法で可能です。

「保留」とは治療中・海外勤務・出産等の理由でご提供を希望しない場合に、一時的に登録を保留にすることです。

### ① ウェブサイトで



#### 造血幹細胞移植情報サービス

(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>



QRコードで  
今すぐアクセス!

1. トップページ「骨髄ドナー登録者の方へ」から「登録内容変更ページ」を開き、ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。  
※アクセスコードは、前号(49号)の宛名台紙および登録確認書等に印字されています。

アクセスコードがわからない場合は、②または③で手続きできます。

2. 1で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、ワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。

3. 変更する項目を入力・確認して完了!!

※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。

### ② 電話で

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。\*電話受付は平日(月～金)の9:00～17:00です。

<b>■北海道ブロック血液センター</b> <b>011-613-6683</b> <b>管轄地域</b> 北海道	<b>■近畿ブロック血液センター</b> <b>072-643-1173</b> <b>管轄地域</b> 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
<b>■東北ブロック血液センター</b> <b>022-354-7083</b> <b>管轄地域</b> 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	<b>■中四国ブロック血液センター</b> <b>082-241-1614</b> <b>管轄地域</b> 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
<b>■関東甲信越ブロック血液センター</b> <b>03-5534-7534</b> <b>管轄地域</b> 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県	<b>■九州ブロック血液センター</b> <b>0942-31-8974</b> <b>管轄地域</b> 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
<b>■東海北陸ブロック血液センター</b> <b>0561-85-4298</b> <b>管轄地域</b> 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、富山県、石川県、福井県	

### ③ 献血ルームで

最寄りの献血ルームの受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で用紙にご記入いただけます。後日、お電話で変更内容について確認させていただく場合があります。

※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記1のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

## メールアドレスの登録をお願いします

ドナー登録者の皆様には、骨髄バンクニュース7月号はご希望の方にメールで発行のお知らせをし、12月号はドナー登録者全員の皆さまに郵送でお届けします。

骨髄バンクニュース発行のメールによるお知らせを希望する方はアドレスの登録をお願いします。



造血幹細胞移植情報サービスQRコード

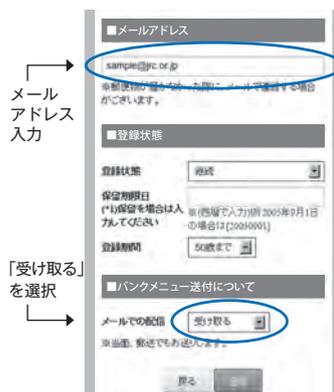
ご注意

※ログインには、前号(49号)のバンクニュース宛名台紙または登録確認書等に記載されたアクセスコードが必要です。

※メール配信を受け取られた方にも、年1回は郵送でバンクニュースが届きます。

※このメールは日本骨髄バンクのメールマガジンとは異なります。

### メールアドレスの登録方法



造血幹細胞移植情報サービス  
(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

「ドナー登録者登録内容変更ページ」

「登録内容変更ページ」にログイン後、  
「**バンクニュース送付について メールでの配信受け取る**」を選択してください。

(ドナー情報変更ページへ)